

書かせる技術の前に、思わず言いたくなる・書きたくなる素材を！			
教案番号	13	対象	小学校低学年
分野	法理	タイトル	片付ける範囲
時間	3人で40分前後 6人で休憩を入れて70分前後		
指導概要	キャッチボール禁止の公園でボール遊びをしていた子どもたちが、投げ損じてガラスを割ってしまった場面を想定し、責任の重さから考えて、片付ける範囲をどのように決めるかを理由を付して主張する文を書く。		

【1】授業の流れ

具体的活動内容	教材・教具
<p>1. 状況把握</p> <p>①1枚目を読んで、どこで、誰が、何をしたかを把握する。</p> <p>ジャンボ 公園でキャッチボールをしてはいけないと分かっているが実際にボールを投げた。</p> <p>しずこ キャッチボールはいけないと言った。</p> <p>1度目はボールを捕り投げ返した。ボールを捕り損ねた。</p> <p>つねお 大丈夫だと言ってキャッチボールをするように言った。</p> <p>のぶた ボールをジャンボに渡した。</p> <p>②気になる発言・行為はないか考える。</p> <p>しずこが1度目に受けたボールを投げ返したこと。</p> <p>のぶたのボールの渡し方。ただ渡したのか。</p> <p>「さあやろう」というように渡したのではないか。ボールを受け取ったジャンボは、なぜ「よし決まった。」と言ったのか。</p>	<p>プリント①の 1枚目</p>
<p>2. 問題把握</p> <p>①話が、責任の重さによって片付ける広さを変えようという方向にあることを押さえる。</p> <p>②投げてガラスを割ったジャンボだけが片付ければよいのではないかと問いかけて反論させ、責任の大小について考えさせる。</p>	<p>プリント①の 2枚目</p>
<p>3. 自分の考えの文章化</p> <p>①それぞれの責任の大きさについて自分の考えを書く。</p> <p>*自分に都合の良い主張に対して「客観性」を持たせるための論拠を探す。</p>	<p>プリント②</p>
<p>4. 具体的な責任の大きさ</p> <p>①責任の大きさを「片付ける広さ」という具体的な数値に置き換えて主張する。</p> <p>*広さという具体的な数値で表すことで、理由づけを明確にしなくてはならない状態にする。</p>	<p>プリント③</p>

【2】次ページより教材例を提示（子ども用に続き、指導者用を掲載）

1 つぎの ^{はなし} ^よ お話を ^{かいけつさく} ^{かんが} 読んで、解決策を ^{かんが} 考えましょう。

のぶた^{くん}君と つねお^{くん}君と ジャンボ^{くん}君と しずこ^{さん}さんの4人で
ボール^{あそ}遊びを ^{こうえん} ^い 公園に行きました。



ジャンボ：キャッチボールを しようぜ。

しずこ：だめよ。あそこに『ボール^{あそ}遊び^{きんし}禁止』と書いてあるわ。

つねお：だいじょうぶ。だれも いないから あぶくないさ。

のぶた：せっかく ボールを ^も 持ってきたのになあ。はい。

のぶたは ^い そう言う ^い と、ジャンボに ボールを わたしました。

ジャンボ：よし、きまった。しずこ、いくぜ！ それ！

しずこ：だめだってば。キャッチ！

ボールを ^う ^と 受け取った しずこは ジャンボにボールを ^な ^{かえ} 投げ返
しました。すると、こんどは ジャンボはボールを ^{つよ} ^な 強く投げました。

ガッチャーン。しずこは ジャンボの ^な 投げた ボールを とる
ことができませんでした。ボールは グローブを はじいて
トイレの まどに ^あ 当たり、ガラスを わってしまいました。



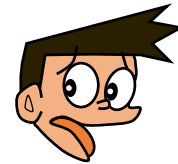
のぶた



ジャンボ



しずこ



つねお

公園の かんりにんさんが 来て「ちゃんとガラスを かたづけ
たら ゆるしてやろう。」と 言いました。

しずこ：わたしは やっちゃいけないって 言ったんだから

かたづけなくても いいわよね。割ったジャンボ君と、
あぶなくないって言った つねお君と、ボールをわた
した のぶた君の 3人で かたづけなさいよ。

ジャンボ：しずこちゃんも グラブを はめて やる気になっ
て いたじゃないか。ボールをとっていれば 割れなかつ
たんだから、おれは わるくなんかないさ。

つねお：ぼくは だいじょうぶって 言っただけで あそ
んでい
ないんだから かんけいないよな。

のぶた：それなら ぼくだって ボールを わたしただけで、
やっていないんだから かんけいないね。

ボールを わたしただけ。



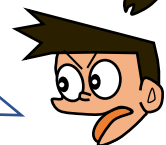
しずこちゃんが とれな
かったのが いけない。



だめって いった。



ぼくは
あそんで いない。



2 つぎの しつもの こたえと その りゆうを ノートに書き
なさい。

①だめって言っていたけど しっかり グラブを はめて1どは
投げ返した しずこちゃんは、かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

②だいじょうぶと 言っただけで 遊んでいない という
つねお君は、かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

③ボールをわたしたただけで 遊んでいない という のぶた君は、
かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

④しずこさんが 取れなかったのが いけないと しゅちょう
する ジャンボ君は、かたづけなくても いいですか。かたづ
けないと いけませんか。

③ あとかたづけをする ^{ひろ}広さは どれぐらいが てきとうだと おもいますか。

① それぞれが かたづける ^{ひろ}広さを いろで ぬり わけましょう。



② そのように ^わ分けた ^{りゆう}理由を ^ききき せつめい しましょう。

^{とも}友だちの ^きせつめいを ^ききき 聞いて、なっとく できない ところが あったら ^{しつもん}しつもん しましょう。

1 つぎの ^{はなし} ^よ お話を^よ読んで、^{かいけつさく} ^{かんが} 解決策を^{かんが}考えましょう。

のぶた^{くん}君と つねお^{くん}君と ジャンボ^{くん}君と しずこ^{さん}さんの4人で
ボール^{あそ}遊びを^ししに ^{こうえん} ^い 公園^いに行きました。



ジャンボ：キャッチボールを しようぜ。

しずこ：だめよ。あそこに『ボール^{あそ}遊び^{きんし}禁止』と書いてあるわ。

つねお：だいじょうぶ。だれも いないから あぶくないさ。

のぶた：せっかく ボールを ^も 持^もってきたのになあ。はい。

のぶたは ^い そう言^いうと、ジャンボに ボールを わたしました。

ジャンボ：よし、きまった。しずこ、いくぜ！ それ！

しずこ：だめだってば。キャッチ！

ボールを ^う ^と 受^うけ取^とった しずこは ジャンボにボールを ^な ^{かえ} 投げ返^なしました。すると、こんどは ジャンボはボールを ^{つよ} ^な 強^{つよ}く投^なげました。

ガッちゃん。しずこは ジャンボの ^な 投^なげた ボールを とる
ことが できませんでした。ボールは グローブを はじいて
トイレの まどに ^あ 当^あたり、ガラスを わってしまいました。



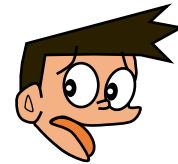
のぶた



ジャンボ



しずこ



つねお

公園の かんりにんさんが 来て「ちゃんとガラスを かたづけ
たら ゆるしてやろう。」と 言いました。

しずこ：わたしは やっちゃいけないって 言ったんだから

かたづけなくても いいわよね。割ったジャンボ君と、
あぶなくないって言った つねお君と、ボールをわた
した のぶた君の 3人で かたづけなさいよ。

ジャンボ：しずこちゃんも グラブを はめて やる気になっ
て いたじゃないか。ボールをとっていれば 割れなかつ
たんだから、おれは わるくなんかないさ。

つねお：ぼくは だいじょうぶって 言っただけで 遊んでいな
いんだから かんけいないよな。

のぶた：それなら ぼくだって ボールを わたしただけで、
やっていないんだから かんけいないね。

ボールを わたしただけ。



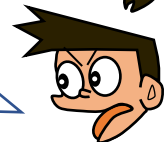
しずこちゃんが とれな
かったのが いけない。



だめって いった。



ぼくは
あそんで いない。



2 つぎの しつもの こたえと その りゆうを ノートに書き
なさい。

①だめって言っていたけど しっかり グラブを はめて1どは
投げ返した しずこちゃんは、かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

グラブをはめていたという行為と投げ返した行為をどう見るか。絶対にいけないと思っていたなら投げ返さないのではないか。投げ返したということは遊ぼうとしていたのではないかという点を問題にできるかどうかポイント。

②だいじょうぶと 言っただけで 遊んでいない という
つねお君は、かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

実際には遊びに参加していなかったツネオだが、遊びを煽った行為は非難されるべきではないかという観点に立てるかどうかポイント。

③ボールをわたしたただけで 遊んでいない という のぶた君は、
かたづけなくても いいですか。
かたづけないと いけませんか。

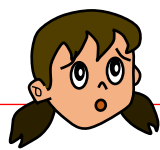
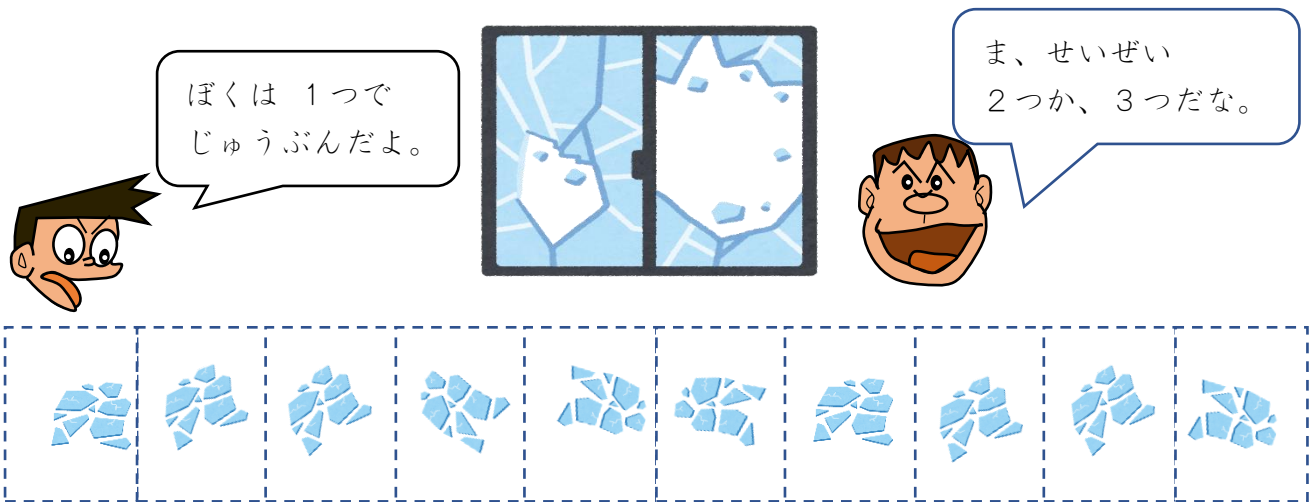
ボールを渡したノブタの行為がどこまで責任を負うべきかがポイント。特に、キャッチボールの開始を誘導するようにジャンボにボールを渡した行為をどう見るか。

④しずこさんが 取れなかったのが いけないと しゅちょう
する ジャンボ君は、かたづけなくても いいですか。かたづ
けないと いけませんか。

ジャンボが投げたからガラスが割れたので責任を負うべきと分かっているけど、このように主張されたときに、その主張をどう崩すかがポイント。

3 あとかたづけをする ^{ひろ}広さは どれぐらいが てきとうだとおもいますか。

①それぞれが かたづける ^{ひろ}広さを いろで ぬり わけましょう。



わたしだって 1つで じゅうぶんよ。



ぼくは 1つも やりたくないよ。

【回答例】

①ジャンボが一番広く（多く）、4つ分を。あとは2つ分ずつ。

* 投げて割った実行者の責任を重くし、直接かかわらなかった他の子は同じ広さという考え。ジャンボ以外の子の責任が同じでよいかという反論にどう答えるか。

②ジャンボが一番広く（多く）、7つ分を。あとは1つ分ずつ。

* ①の考えを極端化したもの。ジャンボが多すぎて可哀そうという反論にどう答えるか。

③ジャンボが4つ分、シズコとツネオが2つ分、ノブタが1つ分。

* ①の考えを基に、ボールを渡したノブタの行為をキャッチボールに関わったシズコと煽ったツネオの責任より軽くした考え。どのような理由で責任の軽重をつけたか説明できるか。

④皆で同じ広さを片付ける。

* 平等・公平を大切にする教育を受けてきた現代の子ども達から出そうな考え。皆でという思いやりは評価してやるも、こういうことが何度も起きても平等でよいか考えさせる。今回初めてのことであったら平等。2回目以上だったら差をつけるというように過去にも目を向けさせて、条件次第で解決策を変える必要性に気づかせる。

②そのように ^わ分けた ^{りゆう}理由を ^{せつめい}せつめいしましょう。

^{とも}友だちの ^{せつめい}せつめいを ^き聞いて、なっとくできないところが あったら ^{しつもん}しつもんしましょう。